



# よ坊さんだより

▼5▲

歯を失った所に人工の歯をつくる治療法は、入れ歯とブリッジとインプラント、三つの方法しかありません。入れ歯は取り外し式で、ブリッジとインプラントが固定式の治療法です。ブリッジは歯が抜けたところの両端の歯を削り橋を架けるように人工の歯を固定する方法で、インプラント

はチタンでつくる人工歯根を歯茎の下のおごの骨に手術して埋め込み固定する方法です。どちらも完成すると自分の歯に近い感じで自然にしっかりかむことができます。しかし、ブリッジもイン

プラントもしょせん人工物であり固定式なので、きれいに手入れできないと再びむし歯や歯周病になります。とくにインプラントの周囲組織は磨き残しの中の菌による感染に弱く、歯茎の下の骨に炎症がすすむ場合、治療は困難になります。であり、治療後もそれを忘れてはなりません。よってブリッジ、インプラントを長期に維持していくには、より一層の口腔ケアが必要になります。大部分は、患者さん自身のブラッシングに委ねることになります。定期的な歯科医院での検診（プロフェッショナルケアを含む）も重要でぜひ続けていくことをお勧めします。

## 口腔ケアと定期検診を

（京都府歯科医師会広報室 小島淳一）

ブリッジとインプラントとの付き合い方

最大の原因は、お口の中をきれいに保てなかったこと

\*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。